

アスパラガスの立茎前後の管理について

R8.1 アグリ技研(株)

1. 立茎について (ウエルカム・ハルキタル)

◎立茎は夏芽を考慮して決定しましょう◎

項目	若年株 (1~2年)	多年生株
時期：日数	収穫開始後 20 日前後	収穫開始後 35~45 日前後
茎の太さ	茎径で 1.1~1.3 cm 程	茎径で 1.2~1.3 cm 程
立茎時収穫量	日量 7~10kg/10a	日量 7~10kg/10a
立茎数 (m ²)	15 本前後 (茎の太さで増減)	18 本前後 (茎の太さで増減)
茎の間隔	茎間を広く間隔を取る	10 cm 程の間隔を取る
茎の品質	円形で真直性の茎	円形茎で 25 cm 程まで同茎
水管理	通常の灌水処理 (一斉揃える)	通常の灌水処理
ハウス温度	やや低温 (極力適温管理)	やや低温管理
立茎揃期間	立茎後 20 日前後	立茎後 30 日前後

*ハルキタルの若年株の立茎はやや早めに太物を残す。

立茎作業は、夏芽の品質収量を大きく左右しますから開始時期などは遅く成らない様にします。最近の夏場の天候は、猛暑傾向の影響で
夏秋芽の細茎傾向と茎葉の損傷も多くなって来ていますからやや太茎の選定と立茎後の茎葉の管理は十分に取りましょう。

2. お礼肥 (立茎前の春肥) 10a 当り施肥例

肥料名	施肥量	備考
鮮彩美人 643	6 袋	有機 100%、成分 6-4-3
珪リン酸	2 袋	P・K、ミネラル分の補充肥料
豊作源	10 袋	活性炭・バチルス菌・カニガラ有機肥料
カウボン	2 袋	有機リン酸、発根促進効果
ベストフミン	3 袋	C E C・腐植の向上、土壤团粒構造改善
珪酸苦土鉄	5 袋	微量要素、苦土、珪酸で根張り草勢維持対策

*立茎前には、春肥として改良材を主として施肥を行って親茎の新根の発育を促進する様にしましょう。

- ① 立茎時の発根促進のために「アミクエ」5~10 kgを月 3 回の灌水処理。
- ② 節間の徒長防止に葉面散布「PK ゴー」2~3000 倍、灌水は 300 g 処理。
- ③ 立枯れ対策で登録剤による土壤処理。